

# 調査研究活動実績

氏名 武石 利彦

令和2年度の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

## 1. 中山間地域対策

中山間地域における高齢者の見守り、買い物弱者対策、移動手段の確保などについて調査研究を行った。また集落活動センターの取り組みにおける成果と課題を探った。それとともに地域おこし協力隊の活動についての調査研究も行った。

## 2. コロナの影響調査

県民の生活や経済活動などへのコロナの影響について調査研究を行った。

飲食店および納入業者などへの影響、行政からの支援策の浸透具合についての調査。またひとり親家庭などの生活への影響を調査し、執行部に報告するなどの活動を行った。

また歯科医師を含む医療機関、高齢者福祉施設などからの聞き取り調査も行った。感染者が発生した医療機関はもとより、医療機関に勤務するスタッフやその家族への偏見などについても調査し、誹謗中傷が起こらない対策に取り組んだ。

またワクチン摂取への体制づくり、課題などについて聞き取り調査し、執行部と協議するなどした。

またコロナ禍による生活様式の変化や見直しについても調査した。都会から地方への人の流れを作るため、テレワークやワーケーションの受け皿づくりに取り組んだ。シェアオフィスやコワーキングスペースの設置に向けた取り組みも行った。

観光客が大幅に減少するなどして甚大な影響を受けた、旅館ホテル関係者、公共交通関係者からの聞き取りを実施し、執行部と情報共有して対策の施策への反映に努めた。

## 3. 一次産業の振興および六次化についての調査研究

農業の地産地消、地産外商の取り組みについて調査研究を行った。

また畜産の課題について調査し、IT化や施設整備の促進など課題解決に向けた取り組みを行なった。

コロナ禍の影響を受けた土佐酒の酒造メーカーへの聞き取り調査を行い、海外も含めた外商戦略の取り組みを行なった。

#### 4. 健康長寿づくりについての調査研究

医療関係者、薬剤師、学者などと協議を進め、高齢者の健康長寿を延ばすための仕組みづくりに取り組んだ。

具体的には健康の基礎となる運動の場づくり、適切な栄養指導体制の構築、健康づくりの進捗状況や成果と課題の把握に努める仕組みづくり。

更に今後は相談、アドバイス体制の構築に努め、実践者がやりがいを感じられるようなインセンティブの導入に取り組む。

#### 5. 観光振興についての調査研究

コロナで打撃を受けた観光において、自然体験型観光の振興について調査研究を行なった。本県の自然を活かした観光プランの造成や、それらの受け皿づくりについての課題解決に向けた取り組みを行なった。また本県において開始された JR による観光列車の乗客を地域観光に結びつけるための調査研究も行った。

#### 6. デジタル化についての調査研究

自治体におけるデジタル化による働き方改革に向けた調査研究を行なった。IT 企業からの聞き取り調査を行い、自治体のデジタル化における課題の把握に努めた。その結果、自治体側では職員に対する研修などが開始されデジタル化に向けた機運が高まったと考えている。また学校現場においても ICT 教育が本格的に開始されるので、その進捗状況や課題と成果についても引き続き調査を行う。

以上